

《県指定有形文化財》

「刺繍釈迦涅槃図」 年に一度の一般公開

～清泰寺で4月7日午前9時から午後4時まで～

東金野井の清泰寺には、平成2年市の文化財に、平成21年3月に県の文化財に指定された「刺繍釈迦涅槃図」が所蔵されている。毎年4月の第1日曜日に一般公開されており、今年は4月7日（日）午前9時から午後4時まで一般公開する。拝観は無料。

清泰寺の刺繍釈迦涅槃図は、江戸時代前期の寛文5（1665）年に制作されたもので、絹地に中国製の金糸などを用いて図柄が刺繍されており、周囲を覆う総縁には、歴代の住職、末寺門徒、檀信徒名2,586人の人名と居住地が縫われている。

刺繍の精緻な技巧とともに、制作年代や由来がはっきりしているなど特徴があり、県内でも類例の少ない貴重な工芸品といえる。

「釈迦涅槃図」とは、釈迦が拘尸那城の西北の跋提河西岸の沙羅樹林で入滅した時の光景を描いたもの。中央で横たわる釈迦の周りには菩薩などの弟子をはじめ様々な人物や動物などが描かれており、満月の空から釈迦の母である摩耶夫人が飛来している。刺繍による釈迦涅槃図は、近世初頭から流行し、17世紀中頃から18世紀にかけての作品が現在でもいくつか残されている。

縦197.8センチ、横134.3センチ

問合せ＝清泰寺（野田市東金野井1192）・電話04-7129-4119
指定文化財のこと⇒生涯学習課・直通04-7199-8595
代表04-7125-1111（内線2651）

野 田 市